



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月3日

上場会社名 大陽日酸株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4091 URL <http://www.tn-sanso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 市原裕史郎
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 於勢久卓 TEL 03-5788-8015
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	437,018	7.5	31,051	19.1	31,587	18.1	20,675	32.2
27年3月期第3四半期	406,687	6.9	26,062	17.1	26,747	21.2	15,642	△5.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 13,009百万円 (△57.2%) 27年3月期第3四半期 30,402百万円 (△18.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	47.77	—
27年3月期第3四半期	36.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	809,378	348,198	39.9
27年3月期	782,357	341,207	40.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 323,073百万円 27年3月期 317,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	655,000	17.1	42,500	20.4	41,300	20.5	27,000	30.0	62.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）TNSC (Australia) Pty Ltd、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	433,092,837株	27年3月期	433,092,837株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	321,258株	27年3月期	314,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	432,776,293株	27年3月期3Q	432,829,306株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)における世界経済は、中国での景気減速が鮮明となってきており、近隣のアジア諸国にも景気の不透明感が広がっています。米国では、ドル高や海外経済の減速により輸出に伸び悩みがみられますが、雇用回復は底堅く景気は内需中心の拡大が続いております。わが国経済は、個人消費が伸び悩みましたが、企業の設備投資が若干上向き始めており、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高4,370億18百万円(前年同期比7.5%増加)、営業利益310億51百万円(同19.1%増加)、経常利益315億87百万円(同18.1%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益206億75百万円(同32.2%増加)となりました。

セグメント業績は、次のとおりです。

なお、前連結会計年度の第4四半期より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの組織変更後の実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。前第3四半期連結累計期間の各セグメント業績については、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

また、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「アジアガス事業」から「アジア・オセアニアガス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

①国内ガス事業

主力製品であるセパレートガス(酸素・窒素・アルゴン)の売上高は、造船・輸送機器関連が堅調に推移したものの、主要関連業界である鉄鋼、化学、エレクトロニクス向けの需要減少等により、前年同期を下回りました。

電子材料ガスは、液晶パネル、半導体関連向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

エレクトロニクス向け機器・工事は大型案件の受注により、売上高は大幅に増加しました。

メディカル分野では、医療用機器が在宅関連を中心に売上げを大きく伸ばしました。

LPGガスの売上高は、輸入価格の下落により前年同期を大幅に下回りました。

以上の結果、国内ガス事業の売上高は、2,407億19百万円(前年同期比4.0%減少)、営業利益は原油価格下落によるコスト低減効果もあり、198億78百万円(同9.5%増加)となりました。

②米国ガス事業

世界的な需給悪化を背景にヘリウムの販売が大幅に減少した一方で、セパレートガスは堅調に推移し、電子材料ガスは米国内の主要顧客向け出荷や輸出が好調でした。これに加え為替換算による影響やM&A戦略による成果の寄与もあり、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、米国ガス事業の売上高は、1,161億69百万円(前年同期比21.9%増加)、営業利益は45億16百万円(同27.1%増加)となりました。

③アジア・オセアニアガス事業

産業ガス関連では、ベトナム、フィリピンの売上高が大幅に伸長しました。また、昨年5月よりタイのエア・プロダクツ・インダストリー社を、7月よりオーストラリアのレネゲード・ガス社をそれぞれ連結子会社化しております。

エレクトロニクス関連では、台湾、中国、韓国での需要が依然堅調であり、電子材料ガス及び機器が売上げを大きく伸ばしました。

以上の結果、アジア・オセアニアガス事業の売上高は、592億91百万円(前年同期比33.5%増加)、営業利益は30億67百万円(同32.3%増加)となりました。

④その他事業

サーモス事業は、新商品を中心に好調な売れ行きが持続し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、その他事業の売上高は、208億38百万円(前年同期比28.1%増加)、営業利益は47億4百万円(同49.9%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は8,093億78百万円で、前連結会計年度末比で270億22百万円の増加となりました。為替の影響については、USドルの期末日レートが前連結会計年度末に比べ約1円の円高となるなど、約75億円少なく表示されております。

〔資産の部〕

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は2,705億28百万円で、前連結会計年度末比で24億23百万円の増加となりました。現金及び預金が125億23百万円の減少の一方、受取手形及び売掛金が29億5百万円、仕掛品が78億17百万円の増加となっております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は5,388億50百万円で、前連結会計年度末比で245億99百万円の増加となりました。有形固定資産が169億32百万円の増加、無形固定資産についても、オーストラリアにおける子会社買収に伴うのれん等の増加により133億55百万円の増加、投資その他の資産が前連結会計年度末に比べ株価が下落したことによる上場株式の含み益の減少等により56億88百万円の減少となっております。

〔負債の部〕

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は2,048億19百万円で、前連結会計年度末比で202億49百万円の増加となりました。短期借入金が111億74百万円の増加となっております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は2,563億61百万円で、前連結会計年度末比で2億18百万円の減少となりました。長期借入金が19億53百万円の減少となっております。

〔純資産の部〕

利益剰余金は、147億84百万円の増加となっております。その他有価証券評価差額金は、主に当社が保有する上場有価証券の含み益の減少により33億16百万円減少し、94億61百万円となっております。為替換算調整勘定は143億99百万円、非支配株主持分は251億24百万円となっております。

以上の結果、純資産の部の合計は3,481億98百万円となり、前連結会計年度末比で69億91百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は39.9%と前連結会計年度末に比べ0.6ポイント低くなっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月4日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であるTNSC (Australia) Pty Ltdは、特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,420	40,898
受取手形及び売掛金	150,552	153,457
商品及び製品	30,252	30,028
仕掛品	8,758	16,575
原材料及び貯蔵品	9,782	12,082
繰延税金資産	8,387	8,107
その他	9,470	11,654
貸倒引当金	△2,520	△2,276
流動資産合計	268,105	270,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	56,886	56,857
機械装置及び運搬具(純額)	171,756	171,965
土地	38,199	41,086
リース資産(純額)	4,354	4,250
建設仮勘定	19,773	29,112
その他(純額)	33,871	38,502
有形固定資産合計	324,842	341,774
無形固定資産		
のれん	66,471	81,073
その他	25,701	24,454
無形固定資産合計	92,173	105,528
投資その他の資産		
投資有価証券	75,377	67,023
長期貸付金	1,199	3,023
退職給付に係る資産	8,396	8,770
繰延税金資産	2,073	2,163
その他	10,542	10,895
投資等評価引当金	△20	△20
貸倒引当金	△333	△310
投資その他の資産合計	97,235	91,547
固定資産合計	514,251	538,850
資産合計	782,357	809,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,036	80,381
短期借入金	65,746	76,920
未払法人税等	7,113	4,926
引当金	3,758	2,678
その他	30,915	39,911
流動負債合計	184,570	204,819
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	148,904	146,951
リース債務	4,779	6,423
繰延税金負債	43,451	43,431
執行役員退職慰労引当金	420	463
役員退職慰労引当金	810	750
退職給付に係る負債	3,824	3,734
その他	9,387	9,606
固定負債合計	256,579	256,361
負債合計	441,149	461,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	55,955	55,497
利益剰余金	190,957	205,740
自己株式	△232	△240
株主資本合計	284,025	298,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,777	9,461
繰延ヘッジ損益	△461	△167
為替換算調整勘定	20,067	14,399
退職給付に係る調整累計額	835	1,036
その他の包括利益累計額合計	33,219	24,731
非支配株主持分	23,963	25,124
純資産合計	341,207	348,198
負債純資産合計	782,357	809,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	406,687	437,018
売上原価	271,991	284,387
売上総利益	134,696	152,631
販売費及び一般管理費	108,633	121,579
営業利益	26,062	31,051
営業外収益		
受取利息	111	131
受取配当金	933	1,071
負ののれん償却額	21	—
持分法による投資利益	1,732	1,568
その他	1,527	1,405
営業外収益合計	4,326	4,176
営業外費用		
支払利息	2,607	2,836
固定資産除却損	147	283
その他	887	520
営業外費用合計	3,642	3,639
経常利益	26,747	31,587
特別利益		
投資有価証券売却益	159	—
段階取得に係る差益	—	1,813
特別利益合計	159	1,813
税金等調整前四半期純利益	26,906	33,401
法人税、住民税及び事業税	9,648	11,209
法人税等調整額	548	287
法人税等合計	10,196	11,496
四半期純利益	16,709	21,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,066	1,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,642	20,675

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	16,709	21,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,598	△3,281
繰延ヘッジ損益	△437	294
為替換算調整勘定	7,638	△5,326
退職給付に係る調整額	436	208
持分法適用会社に対する持分相当額	457	△791
その他の包括利益合計	13,693	△8,895
四半期包括利益	30,402	13,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,698	12,187
非支配株主に係る四半期包括利益	1,704	822

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	250,698	95,310	44,417	16,261	406,687	—	406,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,567	4,923	809	480	9,780	△9,780	—
計	254,265	100,234	45,226	16,741	416,468	△9,780	406,687
セグメント利益 (営業利益)	18,152	3,554	2,318	3,137	27,162	△1,099	26,062

(注) セグメント利益の調整額△1,099百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,150百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内ガス 事業	米国ガス 事業	アジア・ オセアニア ガス事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	240,719	116,169	59,291	20,838	437,018	—	437,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,511	4,797	1,730	469	12,509	△12,509	—
計	246,231	120,967	61,021	21,308	449,528	△12,509	437,018
セグメント利益 (営業利益)	19,878	4,516	3,067	4,704	32,166	△1,115	31,051

(注) セグメント利益の調整額△1,115百万円には、セグメント間取引消去△82百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,032百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに配分していない基礎研究費用等です。

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「アジアガス事業」から「アジア・オセアニアガス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

前連結会計年度の第4四半期より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用の配賦方法を各セグメントの組織変更後の実態に合った合理的な配賦基準に基づき配賦する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は、「国内ガス事業」で170百万円増加、「米国ガス事業」で43百万円減少、「アジア・オセアニアガス事業」で127百万円減少しております。